



# 緑中だより

令和5年度第8号 令和5年10月30日発行

小金井市立緑中学校

小金井市緑町2-11-47 ☎042-383-1164

ホームページ

<https://midori-js.koganei.ed.jp/>



本校の教育目標

○すすんで学び、高い知性を身につけよう

◎社会の一員として、思いやりのある人になろう

○希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう

○からだをきたえ、健康な人になろう

## 「巨人の肩の上に乗る」

副校長 蓮沼 喜春

今回は、私が好きな言葉を1つご紹介しようと思います。この言葉には、

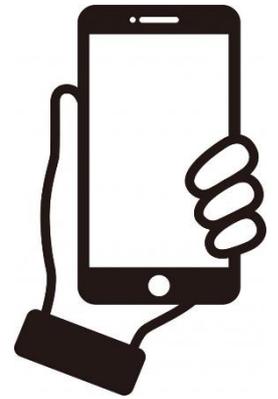
**先人たちが積み重ねてきた発見や業績があるからこそ、新たな知見や学問の進展があるのだ**

という意味があります。

例えばスマートフォンには、様々な先人の知恵が結集しています。

電話という道具の発明、電波の発見、LED（特に青色）の発明、安全に通信するための暗号理論の開発、高性能の部品を小さくして15cm×7.5cmほどの筐体に収める技術…他にも様々な技術が使われていることでしょう。

新しい技術や理論が開発され続け、その性能が革新的に向上することによって、私たちの生活がますます便利なものになっているのは皆さんご存じのとおりです（一方で、あまりにも便利で、どんなことでもできるからこそ、道具として正しく使わなければなりませんね）。しかし、科学技術の発展のおかげで私たちの生活が豊かになっていることを知ってはいても、普段そのことを意識することはあまりないのではないのでしょうか。



「巨人の肩の上に乗る」とは、このように普段何気なく行われていることなのだろう、と私は考えています。



さて、「巨人の肩の上に乗る」という言葉ですが、アイザック・ニュートンがロバート・フックに宛てた書簡の中に「もし私がさらに遠くを見ることができたとするならば、それは巨人たちの肩の上に乗ったからです。」という一節があったという話から、私はこれまでニュートンの言葉だと思っていました。しかし、調べてみたところ、この言葉の原典はニュートンよりもさらに古く、最初に用いたのは12世紀のフランスの哲学者、シャルトルのベルナルという人なのだそうです。人類はそんなにも昔から巨人の肩の上に乗る、乗った人が次の巨人となってその次の時代の人たちを肩に乗せて……、そうして今日の生活があるのかと、技術革新に取り組んできた人類の歴史を感じました。

偉大なる巨人たちに感謝するとともに、その功績の上に立って現在も開発を続けている研究者の方々に敬意を表し、将来さらに遠くを見通す者が現れることを願いながら、緑中では今日も教育活動を行っています。

さあ、巨人の肩の上に乗ろう。

# 学校関係者評価中間まとめの結果



7月に実施した学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員対象）の結果を10月14日（土）の学校運営協議会で報告しました。ご回答いただきました保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

ここでは、自己評価概要と設問の中から抜粋して、2つの分析結果をご紹介します。詳細は本校ホームページに掲載している他、右上の二次元コードからご覧いただけます。

## ■ 各設問の回答状況と分析（抜粋）

### 設問 8 温かな学級・集団づくり

生徒	私は、学校で安心して過ごすことができている。
保護者	お子さんは、安心して学校生活を送ることができている。
教職員	教職員は、気になる生徒に声をかけるなど、生徒が安心できる温かな学級・集団づくりに努めている。

生徒	60	31	7	1
保護者	49	42	7	2
教職員	42	55	3	0

0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ とてもあてはまる ■ どちらかといえばあてはまる (単位:%)  
 ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 分からない/回答が困難

前回と比較して、教職員の肯定的回答の割合が大きく増加している。毎月のいじめに関するアンケートや、WEB-QUによる学級のアセスメントなどを活用し、生徒が安心して過ごすことのできる学級・集団作りに取り組んでいることの成果ととらえたい。

## ■ 自己評価概要

### 成果

- 生徒が楽しく学校生活を送ることができるよう指導することができている。
- 生徒が安心して過ごすことのできる学級・集団作りに取り組むことができている。
- 情報発信に関して、昨年度と比較して保護者の肯定的回答の大幅な上昇がみられた。

### 課題

- ▲ 生徒の興味・関心を高め、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業を展開することについて、一層の工夫・改善が必要である。
- ▲ 1年の段階から生徒に将来自分が果たす役割や職業観を考えさせる機会を意図的・計画的に設け、体験的な学習機会を設定するとともに、家庭においても生徒のキャリア形成について考える機会を設ける必要がある。

### 設問 13 キャリア教育

生徒	私は、将来自分が果たす役割や職業観について、自分なりに考えている。
保護者	お子さんは、将来自分が果たす役割や職業観について、自分なりの考えをもっている。
教職員	教職員は、生徒の社会的・職業的自立に向けて、生徒に将来自分が果たす役割や職業観を考えさせている。

生徒	34	38	17	6	5
保護者	15	35	37	9	5
教職員	32	55	13	0	0

0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ とてもあてはまる ■ どちらかといえばあてはまる (単位:%)  
 ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 分からない/回答が困難

生徒の肯定的回答が約70%である一方、保護者は50%にとどまる。1年の段階から生徒に将来自分が果たす役割や職業観を考えさせる機会を意図的・計画的に設けるとともに、家庭においても将来のことについて話題にしやすいよう、学年だより等を活用して啓発する。

# セーフティ教室(情報モラル)を実施しました

10月6日（金）、小金井警察署のスクールサポーターの方とNTT docomoの方に、安全なスマートフォン（特にSNS）の使い方について講演をしてもらいました。生活が豊かになる便利な道具であるからこそ、その背後にあるリスクを知って、正しい使い方を身に付けてほしいと願っています。

インターネットは危険がたくさんあるというのは知っていたけれど、今日、実際にあった事故やトラブルを見て、もっと注意しなければいけないと思った。長時間の利用や、グループLINEでの会話など、全て自分に身近なもので、いつどこでどんなことがあるのか分からない。だから、今日学んだ対策方法で、日頃から十分な対策をしようと思った。特に、長時間の利用は暇なときについて手がスマホに伸びてしまう僕にとって対策が必要である。それをしないために、まず要因を見つけ、それを直していこうと思う。これからは、インターネットの利用には気を付けて生活していく。(2学年生徒の感想より)



# 道徳授業地区公開講座にご来校ありがとうございました

10月14日(土)は257名の保護者や地域の方にご来校いただきました。1時間目は各教科、2時間目は道徳の授業を実施し、本校の教育や道徳の授業の様子についてご覧いただきました。

意見交換会に参加された保護者や地域の方からは、

- 子供と一緒に授業を受けてみて自分だったらどうだろうと考えた
- 現代社会の様々な問題と関連付けて考えることもできたかもしれない
- いかに生徒から多様な意見を引き出していか、さらなる工夫が必要だと感じた

といったご意見をいただきました。また、アンケートからも様々な意見をお寄せいただきました(右に一部をご紹介します)。今後の学校運営に生かしてまいります。ありがとうございました。



今後いろいろな教科で、自分ごととして意思を表す機会があるといいなと思います。友達と自分の考えや感覚の違いに気付いたり、共感したりしながら、互いに高め合っていけたらと願っています。

「パッと覚えた公式はすぐ忘れるからグチャグチャ考えろ」、「わからないときがいちばん楽しい」、「苦しんで解けたものがいちばん身につく」という先生の言葉が印象的で私自身も励まされました。

普段の様子がみられてよかったのですが、公開授業の際は子供達が発表や発言をするような内容にしてもらえると嬉しいです。

ICT活用で板書がなかった分、先生が生徒に背を向けず、常に全体を見渡していた印象。声かけも細やかで良かった。授業内容は見やすく、話すスピードや声のトーンも併せて聞きやすかった。



## 絵画の寄贈

梶野町にお住まいの石井様から、ジャン＝フランソワ・ミレー作の「落ち穂拾い」が寄贈されました。

美術の授業で見たことがあるであろう、大変有名な絵画です。生徒昇降口に入って左側に展示しましたので、ご来校の際にはぜひご覧ください。貴重な絵画を寄贈してくださいました石井様に感謝申し上げます。

## 緑中生、頑張っています!

### ■ 「子ども縁日」ボランティア

10月21日(土)に、小金井市青少年健全育成北部地区委員会の主催で、緑児童館で「子ども縁日」が行われ、緑中の生徒6名がボランティア活動で参加しました。何点で景品を出すとか、何回までできるようにするかなどを生徒たちで企画し、運営しました。大盛況でした。

どのようにすれば、小学生に分かりやすく、楽しんでもらえるか考え、運営するのが大変でした。縁日に来た多くの方と話すことができ、とても楽しかったです。(2学年生徒の感想より)



### ■ 薬物乱用防止啓発活動ボランティア

薬物のない安全な小金井を守るため、小金井なかよし市民まつりの際に、小金井公園で啓発活動を行うボランティア活動を予定していました。

残念ながら悪天候のため活動は中止となりましたが、本校からは6名の生徒が参加予定でした。



## ■ 卓球部

### 第10ブロック新人卓球大会

男子シングルス ベスト16 2年〇組 〇〇 〇〇

上記選手に加え、以下の選手が上位進出により**都新人大会進出**

《男子シングルス》

2年〇組 〇〇 〇〇      2年〇組 〇〇 〇〇

2年〇組 〇〇 〇〇      2年〇組 〇〇 〇〇

2年〇組 〇〇 〇〇

《女子シングルス》

2年〇組 〇〇 〇〇

また、上位進出者が多かったため、男子は、**第10ブロック代表**として**多摩地区秋季卓球大会(団体戦)**に出場します。

## ■ 水泳部

### FINAL MATCH 2023

女子50m 自由形	<b>第5位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
	<b>第6位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
女子50m 平泳ぎ	<b>第4位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
女子50m 背泳ぎ	<b>第3位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
女子50m バタフライ	<b>第4位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
女子100m 平泳ぎ	<b>準優勝</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
女子200m 自由形	<b>第3位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
男子50m 自由形	<b>準優勝</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
	<b>第5位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
男子50m 平泳ぎ	<b>準優勝</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
男子100m 自由形	<b>準優勝</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
男子100m 平泳ぎ	<b>第3位</b>	3年〇組	〇〇 〇〇
代表女子4x50m フリーリレー	<b>第6位</b>	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇	
代表女子4x100m メドレーリレー	<b>準優勝</b>	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇	
代表女子4x100m フリーリレー	<b>第4位</b>	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇	
代表男子4x100m メドレーリレー	<b>準優勝</b>	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇	
代表男子4x100m フリーリレー	<b>準優勝</b>	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇	
男女混合16人リレー	<b>第4位</b>		
<b>女子総合第4位 男子総合第5位 男女総合第3位</b>			

## 学校からのお知らせ

### ■ 最終下校時刻が早まります

空が暗くなるのが早くなってきました。

**11月6日**(第4回定期考査の1週間前)から、最終下校時刻を午後6時といたします。お子様の帰宅に関してご心配なことがございましたら、学校までご連絡ください。



## ■ 衣替えについて

11月1日で衣替え移行期間が終了します。11月2日からは、原則として標準服での登校となります。

## ■ 学割証の発行はお早めに

JRの学生割引は、片道100kmを超える乗車券料金が2割引となるもので、本校が発行した証明書を提示することで割引が受けられます。

学割発行願は事務室前にあります。必要事項を記入し、担任に提出してください。



## ■ 11月の主な行事

1	水	文化発表会2日目 舞台発表 (どりーむホール)
2	木	
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	全校朝礼 安全指導 進路面談(3)始
7	火	
8	水	市教研部会 定期考査1週間前
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	進路面談(3)終
14	火	
15	水	第4回定期考査(国・音・英)
16	木	第4回定期考査(社・技家・美)
17	金	第4回定期考査(理・数・保体)
18	土	
19	日	
20	月	各種委員会
21	火	評議員会
22	水	開校記念日 職員会議
23	木	
24	金	新入生保護者説明会
25	土	
26	日	
27	月	生徒会朝礼 避難訓練
28	火	
29	水	
30	木	